

「大学として求める教員像」

東海大学が求める教員像は、建学の精神ならびに本学の使命と教育理念、及び大学・大学院、研究科、学部・学科が定める「学位授与の方針」、「教育課程の編成方針」、「入学者の受け入れ方針」を十分理解し、教員としての職務と責任を真摯に自覚し実践する人材である。

具体的には、「教育」「研究」「社会貢献」「国際連携」「管理運営」に関する以下の項目について、恒常的に向上改善に努めることが求められる。

1. 全ての学生に対して熱意と慈愛をもった教育を通して、定められた学修目標まで到達させる責務を自覚し、教育活動に意欲的に取り組む。
2. 研究者としての倫理を遵守し、国内外に評価される研究活動に意欲的に取り組み、その成果を積極的に公表して学術の発展に寄与する。
3. 自らの教育研究分野の学識や成果を、広く社会に還元し、社会教育、イノベーション創出、産業の発展などの社会貢献に意欲的に取り組む。
4. 国際的な環境の変動に伴う多様な要請に対応できる視野を有し、国際的な連携に意欲的に取り組む。
5. 大学の構成員として、自らの役割を正しく理解し、他の教職員と協働して、本学の使命と教育理念を達成するために、大学運営に意欲的に取り組む。